

第4回いわての森林づくり県民税事業評価委員会

日 時：平成28年12月1日（木）13：30～15：30

場 所：サンセール盛岡 2階 中ホール

次 第

1 開 会

2 議 題

(1) いわて環境の森整備事業の施工地審査について

(2) 県民参加の森林づくり促進事業について

3 そ の 他

4 閉 会

いわての森林づくり県民税事業評価委員会委員名簿

(平成28年7月14日現在)

氏名	役職名等	備考
大粒来 宏 美	有限会社丸大県北農林 取締役	
岡 田 秀 二	富士大学 学長	
小山田 四 一	一戸町立図書館 館長	
國 崎 貴 嗣	岩手大学農学部（環境科学系） 准教授	
佐 藤 重 昭	徳清倉庫株式会社 代表取締役	
佐 藤 誠 司	岩手県商工会議所連合会 盛岡事務局長	
安 原 昌 佑	岩手県保護司会 河南分区長	
吉 田 敏 恵	岩手県消費者団体連絡協議会 常任幹事	欠席
吉 野 英 岐	岩手県立大学総合政策学部 学部長	欠席
若 生 和 江	環境アドバイザー	

(五十音順)

1 委員 10名

2 任期 平成28年7月14日～平成30年7月13日

第4回いわての森林づくり県民税事業評価委員会 県関係出席者名簿

役 職 等	氏 名	備 考
農林水産部 林務担当技監	阿 部 義 樹	
林業振興課 総括課長	佐々木 隆	
技術主幹兼振興担当課長	西 島 洋 一	
主任主査	高 芝 俊 雄	
主任主査	木戸口 佐 織	
主 査	三 上 昭 典	
主 事	山 本 有 美	
森林整備課 技術主幹兼計画担当課長	久 慈 敏	
主任主査	小 澤 洋 一	
盛岡広域振興局林務部 主任主査	小 原 孝 文	
盛岡広域振興局林務部 主任主査	井 上 克 博	
盛岡広域振興局林務部 いわて環境の森整備推進員	小 林 静 夫	
盛岡広域振興局林務部 いわて環境の森整備推進員	藤 田 隆 二	
県南広域振興局林務部 主 査	赤 座 直 輝	
花巻農林振興センター いわて環境の森整備推進員	菊 池 継 彦	
遠野農林振興センター 主任主査	佐 藤 一 哉	
宮古農林振興センター林務室 技 師	畠 山 智 樹	
二戸農林振興センター林務室 主 任	高 坂 達 也	

平成 28 年度いわて環境の森整備事業 施工地選定審査基準(審査)

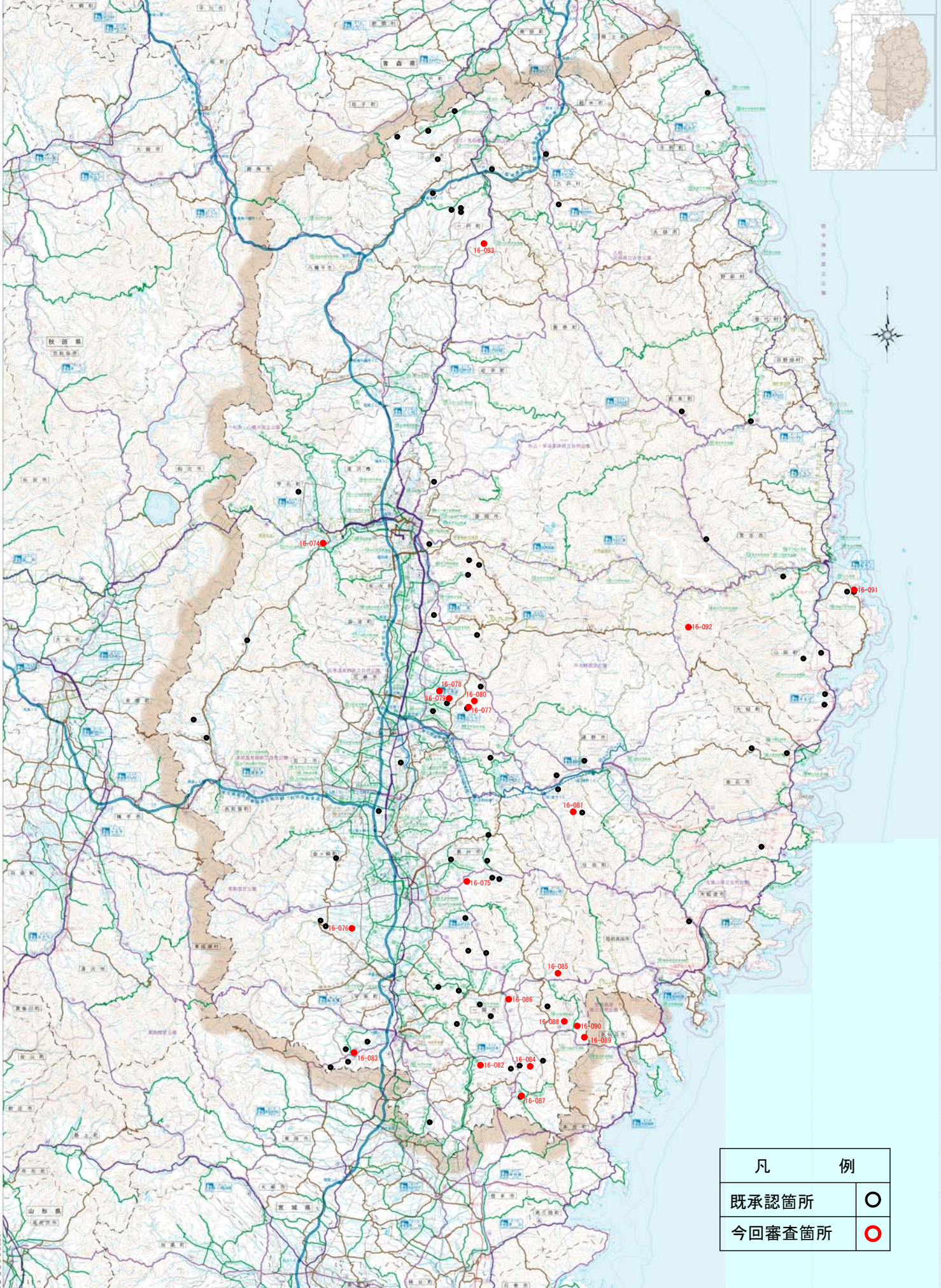
いわて環境の森整備事業の施工地選定審査に当たっては、下表に掲げる基準を満たしているものを適とする。

審査項目		審査基準
森 林 に 関 す る 事 項	事業対象森林	① 私有林であること。
		② 人工林であること。
		③ 公益林であること。 ア 水源地域等の上流域の森林 イ 野生動植物生育の場として重要な森林 ウ 自然林に戻すことによって、景観的な多様性の維持・向上を図るべき森林 エ 上記に準ずる森林
		④ 保安林である場合は、治山事業等で実施することが困難であること。
採択基準	⑤ 対象樹種は、原則として人工林であるスギ、カラマツ、アカマツ等の針葉樹であること。 ただし、アカマツ天然生林においても、地域において保全上重要な森林については、対象とするものとする。	
	⑥ 対象齢級は、原則として4から10齢級であること。 ただし、3齢級以下及び11齢級以上であっても、地域において保全上重要な森林で、本事業の計画に加えるべき森林については、対象齢級として取扱うものであること。	
	⑦ 1 施工地の面積は、0.3ヘクタール以上であって、原則として1ヘクタール以上の団地であること。 ただし、団地の考え方(団地性の判断)については、各施工地の相互の間隔が概ね10キロメートル以内の範囲であるものとする。(概ね半径10キロメートルの円内にすべての施工地が含まれること。)	
森林所有者に関する事項	⑧ 協定書の締結に同意していること。 (現時点では口頭による確認)	

平成28年度いわて環境の森整備事業施工予定地一覧表(補助)

連番	受付番号		市町村	大字	字	樹種	面積 (ha)	林齢 (年生)	申請者	特記事項
001	16	074	雫石町	西安庭第10地割	芦ヶ沢ほか 地内	スギ	1.96	43～48	盛岡広域森林組合	
002	16	075	奥州市	江刺区藤里	前田ほか 地内	スギ	3.47	35～42	奥州地方森林組合	
003	16	076	奥州市	胆沢区小山	中沢前長根ほか 地内	スギ、ヒノキ	5.04	28～47	奥州地方森林組合	
004	16	077	花巻市	東和町	石鳩岡1区 地内	スギ	1.00	33	クイック株式会社	
005	16	078	花巻市	石鳥谷町	滝田第6地割 地内	スギ	1.70	29～40	クイック株式会社	
006	16	079	花巻市	石鳥谷町	滝田第5地割 地内	スギ	1.20	41～53	クイック株式会社	スギ 53年生 0.20ha
007	16	080	花巻市	大迫町外川目	第31地割ほか 地内	スギ	7.87	19～51	花巻市森林組合	スギ 51年生 0.95ha
008	16	081	遠野市	小友町	第36地割 地内	スギ	5.00	50,60	遠野地方森林組合	スギ 60年生 0.65ha
009	16	082	一関市	川崎町薄衣	南新山ほか 地内	スギ、ヒノキ	7.81	19～53	岩手県森林整備協同組合	スギ 53～55年生 0.35ha
010	16	083	一関市	萩荘	老流ほか 地内	スギ	10.16	32～57	一関地方森林組合	スギ 53～57年生 1.08ha
011	16	084	一関市	千厩町小梨	天神ほか 地内	スギ、ヒノキ	2.86	16～47	一関地方森林組合	
012	16	085	一関市	大東町大原	沼ノ沢ほか 地内	スギ、ヒノキ	6.27	28～49	一関地方森林組合	
013	16	086	一関市	大東町摺沢	戦沢ほか 地内	スギ	9.30	26～53	一関地方森林組合	スギ 53年生 1.00ha
014	16	087	一関市	藤沢町保呂羽	大宝城 地内	スギ、ヒノキ	2.27	16～29	一関地方森林組合	
015	16	088	一関市	室根町折壁	上山 地内	スギ	1.75	41～50	一関地方森林組合	
016	16	089	一関市	室根町折壁	愛宕 地内	スギ	1.79	34～47	一関地方森林組合	
017	16	090	一関市	室根町折壁	隠谷 地内	スギ、ヒノキ	1.52	28～50	一関地方森林組合	
018	16	091	宮古市	音部	第9地割ほか 地内	スギ、アカマツ	1.67	43,49	宮古地方森林組合	
019	16	092	宮古市	江繋	第18地割 地内	スギ	3.51	17～48	岩手県森林整備協同組合	
020	16	093	一戸町	小鳥谷	朴館 地内	スギ、カラマツ、ヒノキ	5.97	36～38	二戸地方森林組合	
a	今回計		20施工地				82.12			
b	平成28年度既承認面積						364.41			
c	a + b						446.53			

いわて環境の森整備事業施工位置図（平成28年度）



凡 例	
既承認箇所	○
今回審査箇所	●

平成28年度いわての森林づくり県民税事業 整備予定箇所一覧表
(森林レクリエーション施設整備: 県事業)

平成28年12月1日
第4回いわての森林づくり
県民税事業評価委員会
資料No. 2

番号	年度	森林公園名	整備施設	数量	概算額 (千円)	整備理由	備考
1	28	岩手県県民の森	案内看板	5基	1,729	案内看板の設置により利用者の利便性を高め、また、森の利用心得を周知することで環境保全等の普及啓発及び県民税の周知を図る。	
			木柵	140m	2,695	みんなの広場の水路約315mの両側に進入禁止のロープを設置しているが、容易に進入可能であり安全管理上問題があること、また、景観上も好ましくないことから、木製の柵を設置。併せて木材及び県民税の周知を図る。	
2	"	千貫石森林公園	指導標識	4基	457	園内に指導標識を設置することにより利用者の利便性の向上と併せて、木材及び県民税の周知を図る。	
3	"	折爪岳	案内看板	2基	2,000	自然公園センター及びキャンプ場に案内看板を設置することにより、利用者の利便性の向上と併せて、木材及び県民税の周知を図る。	
計					6,881		

【実施根拠】

県民参加の森林づくり促進事業実施要領に規定する「森林公園などの森林レクリエーションを目的とした公共的施設における県産材利用促進活動」(第3期より新規追加メニュー)に該当。

森林環境税に係る他県調査の結果について（追加情報提供）

I 高知県

1 自然体験活動指導者の養成（環境学習推進事業）

(1) 概要

- ア 自然体験活動や環境学習を推進するために、体験活動等に関する情報の提供、指導者の養成に取り組む。
- イ 子どもの体験活動の機会を増やすため、身近な場所で、豊かな活動体験を提供できる指導者を地域の青少年育成団体等に派遣する。

(2) 取組内容（H27 決算 1,088 千円）

- ア 自然体験活動や環境学習の企画・運営、各団体間の連絡調整指導者の養成及び指導力向上を目指した研修会の実施。
- イ 自然体験学習指導者研修の終了者が、スキルアップを図るために森林保全ボランティア団体の実施する間伐体験を活用。
- ウ 自然体験活動指導者研修の修了者をはじめ自然体験プログラムを提供できる経験豊かな指導者を地域の少年団体などへ派遣。（小学校 3 校 4 回、参加 250 名）

2 高校生を対象とした林業に関する資格取得の推進（高校生後継者育成事業）

(1) 概要

林業関係学科に学ぶ生徒を対象に、林業に関する資格取得を推進し、将来の林業を担う人材の育成を図る。

(2) 取組内容（H27 決算 354 千円）

	車両系建設機械運転技能講習	可搬式林業機械研修
高知農業高等学校	9 名	6 名
幡多農業高等学校	9 名	0 名
窪川高等学校	5 名	5 名
梶原高等学校	5 名	1 名

※ 河川の水質検査や間伐材利用を通じて将来の森林環境の良き理解者を育成する「高校生森林環境理解事業」も実施。

II 愛媛県

1 作業道開設（森林そ生集団間伐促進事業）

(1) 概要

市町が中心となった森林整備の加速化に向けた取組みへの支援と、森林所有者自ら実施する森林整備など、国の補助対象外となる施業へのきめ細かい支援を行うことによって、森林の保全・整備と林業・木材産業の振興を図る。

(2) 取組内容 (H27 決算 350,480 千円)

事業種	事業内容
森林整備戦略的取組支援事業	① 事業内容：市町が参画する林業活性化センター等の支援を受けて作成された戦略的な森林経営計画内において搬出間伐等を実施 ② 事業対象：戦略的森林経営計画内において実施する公共造林事業（国庫補助事業）
自伐林家支援事業	① 事業内容：森林所有者等が自ら行う森林整備等を支援 ② 補助対象：植栽、獣害対策、下刈、間伐、作業道開設 ③ 事業主体：森林所有者等 ④ 補助金額：定額（1/2 以内）
未整備森林間伐事業	① 事業内容：国庫補助事業の対象外となる施業について、事業主体が森林所有者の代わりに行う森林整備等 ② 補助対象：間伐等（間伐、関連条件整備） ③ 事業主体：森林組合・林業事業体 ④ 補助金額：定額 240 千円/ha 以内（間伐 210 千円/ha 以内、関連条件整備 30 千円/ha 以内）

2 林業技術者養成に向けた研修（フォレスト・マイスター養成支援事業）

(1) 概要

森林整備の中核的な担い手である林業技術者（フォレスター）や作業管理者（フォレスト・マイスター）を養成するとともに、木材加工技術者や計画的な森林整備の提案技術者の養成を行う。

(2) 取組内容 (H27 決算 14,640 千円)

研修名	概要
フォレストワーカー養成コース	森林整備に必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 （日数：30 日、養成人数 7 名）
林業架線作業技術コース	林業架線作業に必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 （日数：30 日、養成人数 14 人）
高性能林業機械作業技術コース	高性能林業機械活用に必要な知識・技術・資格等の習得研修 （日数：50 日、養成人数 12 人）
森林施業プランナー養成ステップアップ研修	森林施業プランナーの更なるスキルアップ研修 （日数：6 日、養成人数 10 人）
高度森林管理技術者育成研修	愛媛大学と連携して行う、時代に即した高度な林業専門知識の研修 （日数 20 日、養成人数 20 人）
次世代林業者育成研修	就業前の高校生に対して行う林業体験研修 （日数：8 日、養成人数 20 人）

3 間伐等の木質バイオマスに向けた供給支援（木質バイオマス利用促進事業）

(1) 概要

林内に放置されている林地残材等の搬出利用経費に対する支援や木質バイオマス生産に関する調査を行い、木質バイオマスとしての利用を促進するとともに、木材の新たな利用用途の開発や普及について支援。

(2) 取組内容 (H27 決算 23,342 千円)

事業名	事業内容
木質バイオマス利用促進事業	<p>ア 木質バイオマス有効活用事業 製紙用チップ（燃料用を除く）、木質ペレット等に供する木材について、1 m³当たり 2,000 円の搬出経費等を支援</p> <p>イ 木質バイオマス生産低コスト化事業 林業研究センターにおいて木質バイオマス利用に向けた低コスト化等の調査事業を実施</p> <p>ウ 木質バイオマス利用調査事業 バイオマス収集を担う愛媛県市場連盟が、他県の優良な事例を調査を行い、収集体制を構築</p>
新たな県産材利用促進事業	<p>ア 県産材利用用途開発事業 民間企業のアイデアを活かし、製材品以外の県産材の利用用途の開発を支援</p> <p>イ 県産材利用用途普及事業 新たな木材利用技術等に関する紹介を行い、県産材商品の開発に生かし、新たな需要を創出</p>

III 宮崎県

1 木育等に必要の人材の育成（木づかい・木育推進事業の一部）

(1) 概要

「みやざき木づかい県民会議において、木材の良さや利用することの意義について、県民の理解と認識を深め、木材利用に繋げるための各種普及啓発活動を実施する。

(2) 取組内容 (H28 環境税分予算 18,496 千円)

事業名	事業内容
みやざき木づかい県民会議事業	<p>ア 木づかい県民会議開催・運営 木づかい運動の展開、「みやざき木づかい推薦」感謝状の贈呈、木育ネットワークの構築</p> <p>イ 木育サポーター事業 木育活動の普及啓発、実践に取り組む人材を養成</p> <p>ウ 木育サポーター派遣事業 木育活動に取り組む保育園や学校、団体等にサポーターを派遣</p> <p>エ 木育ワークショップ事業 図書館や商業施設等での県民会議が実施する木づかい・木育ワークショップ開催</p>
地域活動支援事業	<p>県民が取り組む地域に根ざした木育ネットワークを活かしたイベントを支援（補助率 1 / 2）</p>
「森林のイクボス木づかい宣言」支援事業	<p>誕生祝品贈呈、木育キャラバンの実施、木づかいによる環境改善等の支援</p>

平成 28 年度「いわて森のゼミナール推進事業」
(森林学習会実施状況)

1 目的

この事業は、児童・生徒をはじめ広く県民を対象に、森林・林業に対する理解を深めていただく機会を提供するもの。

2 委託業務の進捗状況

県教育事務所より推薦された小・中学校・義務教育学校において、児童・生徒を対象とした森林・林業に関する講座や自然観察会等の実施。

実施要望 現在 22 校（新規 5 校 ○印） 実施済 18 校

今後実施する学校 4 校

(小久慈小、羽場小、一戸南小、愛宕小(奥州市))

実施校一覧 (18 校)

	実施校	実施日	実施場所	実施概要	人数	学年
①	盛岡市立東松園小	10/3	校庭、中央公園	樹木観察	50	2
②	盛岡市玉山小	9/29	校庭、校地内	樹木観察	21	1～4
3	葛巻町立小屋瀬小	11/1	葛巻高原森林公園	樹木観察	22	全
4	岩手町立水堀小	9/15	御堂 川の駅周辺	樹木観察、散策	9	1
5	北上市立口内小	6/24	校庭、校舎周辺	樹木観察	10	1
6	遠野市立達曾部小	10/5	観察の森、校舎裏	樹木観察	40	全
7	奥州市立大田代小	9/23	学校、学校林	体験学習・自然教室	18	全
8	奥州市立伊手小	6/21	校地、周辺林	体験学習・自然教室	11	5
9	金ヶ崎町立西小	9/30	校庭	体験学習・自然教室	38	1～3
⑩	一関市立花泉小	10/25	教室	社会科「水はどこから」	26	4
⑪	一関市立藤沢小	10/26	大籠キリシタン 殉教公園	樹木観察	33	5
12	大船渡市立越喜来小	7/8	同校避難路の裏山	樹木観察	12	4
13	宮古市崎山小	6/17	休暇村宮古	森林の働き・木工作業	34	2
⑬	山田町立荒川小	7/1	校庭周辺	森林の働き、樹木観察	26	2～6
15	久慈市夏井小	10/27	夏井小の森	樹木観察、森林の役割学習	13	1～4
16	洋野町立帯島小	10/31	森林	樹木観察、森林散策、木の伐採	28	4～6
17	奥州市立黒石小	6/15	千貫石森林公園	森林の果たす役割、機能	8	5
18	盛岡市大慈寺小	10/21	校庭	樹木学習	37	3
計					399	



森林はどのような働きをしていると思いますか？



針葉樹と広葉樹との区分を理解しましょう



「観察の森」で、冷温帯林の代表的な樹種の
ブナとミズナラをお覚えましょう